

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2000年11月28日

6号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991

家をさがしています

お心当たりの方 ご一報ください

グループホームの宿泊体験は順調に進んできているのですが、正式にグループホームとして始める場所がなかなか見つかりません。会員の皆様、また、お知り合いの方に下記の条件に合う建物を建てて貸して下さる方がいらっしゃいましたら、支える会までお知らせ下さい。(☎045-562-3600)

皆様からの情報をお待ちしています。よろしくお願い致します。

☐地域：横浜市港北区日吉地区・下田地区・高田地区近辺

☐広さ：7LDK(200㎡前後)

☐希望家賃：37～38万円(上限40万円)

☐横浜市の家賃補助がありますので、安定した契約ができます。



まず 外へ出ること

4年ほど前に 車いすで電車に乗ることが出来るようになりました。

練習のとき ときどき トラブルがあったり 知らないことがありました。

駅員を呼ぶときに 私は お話しが不自由なので「あーあーあ」オガイと言うので駅員が 「エーエー」 わからないなーと言ったりしました。

たんだん 駅員がわかってくれるようになりました。

一生懸命してなければ かわらなかつたなと思います。

今は 障害者たちも 外を歩いているひとが多くなりました。

今は 少しずつ駅も変わっていくみたいです。

どこの駅も 車イスの人たちが 利用しやすくなれば良いと思います。

私の乗る駅や 下りる駅は 便利になりました。

でも 横浜駅がふべんなので 横浜にいろいろ用事があるときは「どんねんだな」と思います。

障害者の人にとっては外に 出ることも大切だと思います。 Y.O

アルバイトの声

学校の掲示板で、グループホームの宿泊アルバイトの募集を見つけました。学校での勉強を少しでも活かせたらと思い、始めました。しかし、実際始めてみたら、わからない事や、失敗、反省の連続で毎日が勉強です。それでもメンバーの皆さんと過ごす時間は楽しく、帰る時間がいつもすぐにきてしまいます。グループホーム以外でも、メンバーの皆さんと楽しく過ごせたらいいなあと思っています。

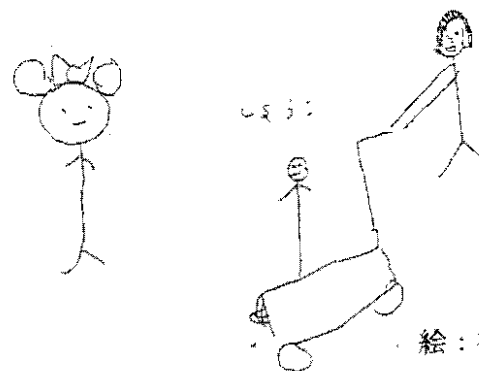
まだ、できる事の少ない私ですが、多くの事を身につけていきたいと思っています。

どうぞ、よろしくお願いします。

(山口 さくら)

どうきうラハス ニーランド

高橋としあお



絵：福田次郎

毎月『TAWAWA』を皆様にお送りしていますが、ちらっとでも見て、読んで頂けたら、うれしいです。『TAWAWA』は、会員の声やメンバーの声や様子、支える会の活動を伝えていきたいと考えています。また、会員同士のコミュニケーションの場としても考えています。皆様の声をお待ちしております。今回から、Y.Oさんの連載が始まります。おたのしみにー。

家族(会員)の声

グループホームのメンバーに決まり、よつばホームの職員の方がグループホームの職員として関わって下さいますので親子とも安心です。

これからは4人のメンバーでいろいろな体験をしながら、職員と仲間の皆さんとで楽しい生活をしてもらいたいです。

宿泊の日は親も寂しいですが、私の体の休日と思っています。本人の将来を考えると不安でしたが、グループホームへの入居が決まり、少し気持ちが楽になりました。

完成するまでさまざまな困難もあるでしょうが、これからも他のお母さん方と頑張っていきたいと思っています。

(花岡 佐千江の母)

「あの子のいない4日間は長いわね」これが4連泊の時の母の気持ちを表した言葉です。勢津子はよく本を読みますが「ちょっとこのところおもしろいよ」と母に見せます。「よく見えないと言うと読んで聞かせ「ねっおもしろいでしょう」と次々と話が広がっていきます。ホームでのこと、友達の様子も伝えてくれるので「勢津子がいないと寂しいね」と毎日言っていました。宿泊の日、旅行の時も寂しいと言う母。しかし、「少しずつ慣れていかなければいけないのね」と自分にいいかかせている母でもあります。

(高島 勢津子の姉)



お竹ちゃんこと竹生明子さん

いつもオシャレで、何を着ても似合います
 “眠り姫”と呼ばれてしまうこともあります、
 後々のことを考えて、寝ているのです
 時には、“眠らぬ姫”の高らかな笑い声が
 一晩中、響き渡るのです
 無礼な者は、“どんぐりちゃん”などと呼ぶが、
 そんな時は騒がずに、じっと目を見て諭すのです
 姫のお気に入り、音の出るものと散歩
 今日も明日も元気に我が道を行くのです

11月の報告

10月30日～11月3日 福田・藤田

高島宿泊

7日～10日 山田・花岡宿泊

10日 学習会・スタッフ会議

13日 学習会

13日～17日 福田宿泊

13日～15日 阿部宿泊

14日～15日 職員研修（高橋）

15日～17日 馬場宿泊

16日～17日 職員研修（高橋）

20日 学習会・職員研修（菅原）

24日 スタッフ会議



★ 新入会者紹介(敬請・順同)

勸 小谷 みなこ

寺沢 慎

会員入会状況(截至12年11月25日現在)

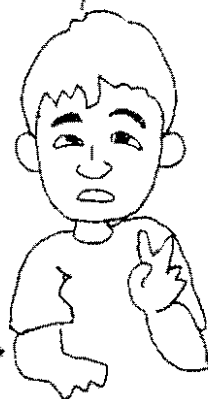
◎ 会員 30名

◎ 賛助会員(個人) 135名

◎ “ ” (団体) 3団体



よつばホーム(様新)に通い始めて、2年が過ぎ、
 “ここに一郎あり”と存在感をアピール
 色々なことに、こだわりの人である
 特にボールペンは行く先々でチェック
 車は、雑誌で新車のチェック
 休みの日にディーラーまわり
 習字の時はいつもの馬場さんの姿は消え、
 真剣そのもの、腕前もなかなかのもの
 風呂上がりの1杯のビールを
 飲んでみる夢は、もちろん…♪



馬場一郎さん

最近の学習会では、就業規則や
 給与規程などの規約のこと、予
 算についての検討などといった
 具体的なことに取り組んでしま
 した。

また、NPO法人の申請に向け
 て、いよいよ動き出します。
 学習会や話し合いをしていると
 メンバーのことをそれぞれが大
 事に思い、考えているのだなと
 感じますが、ぶつかることも、
 よくあります。ぶつかることで
 お互いの違いを改めて知って、
 少しずつ角が取れて転がってい
 くのかなと思いつつ、どこかで
 効率の良さを求めていたり…。



活動力報告

11月までで、グループホーム一館目メンバーが4連泊を体験し終わりました。
 どうしても、4泊目には多少なりとも疲れが出てきてしまうようですが、今の段階では
 仕方がないのかなと思います。それでもサンヴァリエの宿泊が、徐々にではありますが
 「お泊まり会」から「生活」に近づいてきたかと思っています。

また、今月は職員研修で先輩グループホームでの宿泊を体験してきました。報告・感想
 は以下の通りです。



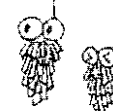
私は、今回の研修で初めてグループホームへ行って来ました。もっと集団生活のような
 暮らしを想像していたので、私の考えていたグループホーム像とはだいぶ違いました。
 自分の好きな時に好きなことをしたり、一緒のおしゃべりをしたりと、それぞれの生活が
 ある家なのだなと思いました。

外出・食事等、研修で見させてもらったことをグループホーム設立の為に役立てていきたい
 と思います。（高橋 澄江）



グループホームの職員は職員数が少ない為に、どうしても世界が狭くなりがちです。
 そのため疑問や問題が出てきても、内輪だけでは解決出来ないものも出てくるかと思ひます。
 もちろん、そういったことを解決するために連絡会などはあるのですが、日々の生活に追われ
 出席できないことも多々あるようです。

今回、研修に行ったことで公的サービスの利用ポイントや家屋の建設などについても勉強に
 なったのですが、それよりも、先輩グループホームの職員とのつながりができたことが一番の
 収穫でした。（菅原 賢）



支える会 12月の予定



S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5 山田 高島	6	7	8	9
10	11 福田 馬場 中村	12	13	14	15	16
17	18 藤田 花岡 学習会	19	20	21	22 スタッフ会議	23
24	25	26	27	28	29	30
31						